

## 2 ■〈予告〉 2024年サッポロミドリは50周年を迎えます

## 3 ■特集

- 1 産地紹介① 埼玉県所沢市 エダマメ「青祭」
- 2 産地紹介② 群馬県 エダマメ「青祭」
- 3 産地紹介③ 神奈川県三浦市 ダイコン「春宴」
- 4 産地紹介④ 北海道十勝郡浦幌町 ダイコン「夏巡り」
- 5 産地紹介⑤ 北海道河西郡芽室町 ミニカボチャ「栗てまり」
- 6 緑肥作物導入事例 秋田県 ペルシアンクローバ「まめ小町」
- 7 植物活力資材使用事例

## 11 ■TOPICS

レシピ紹介「栗天下」カボチャとクリームチーズの和風サラダ

## 12 ■特選種子・資材のご案内

- 13 エダマメ
- 20 エンドウ
- 21 インゲン
- 22 スイートコーン
- 26 カボチャ
- 29 ブロッコリー
- 30 キャベツ
- 31 ダイコン
- 37 コマツナ
- 39 レタス
- 40 レタス／ハウレンソウ／ニンジン

- 41 販促資材
- 43 絵袋・小袋
- 45 緑肥作物
- 50 野菜品種一覧

### 健土健民

私たちは、創業者 黒澤酉蔵翁の『健土健民』を創業の精神としています。  
『健土健民』とは、健全な土地が健全な食料をもたらし、健全な食料が健全な人間を形成するという農業があるべき基本的な姿を表しています。私たちは、この創業の精神を実現するために、自然・環境との共生を常に意識して行動します。



2024 年

おかげさまでサッポロミドリは 50 周年を迎えます。

これまでのご愛顧に心より感謝申し上げます。

雪印種苗の野菜品種の中でも最も長い歴史を誇る「サッポロミドリ」。  
この北の大地の名に込められた思いを忘れずに、この先も大切に受け  
継いでいきます。

サッポロミドリの遺伝子は現在の品種にも脈々と受け継がれており、  
エダマメの可能性を追い求め、日本の食文化を、皆様と一緒に守り続  
けたいと思います。

## サッポロミドリ 50 年のあゆみ



～埼玉県所沢市での栽培事例および取り組み～  
エダマメ「青祭」を栽培して

ゼロファーム  
代表 佐藤 勇介

## 1. はじめに

所沢市は都心から 30km 圏に位置し、大消費地に隣接している優位性を活かして、露地野菜などを中心に県下でも有数の農業粗生産額をあげています。しかしながら、農業を取り巻く環境は厳しく、生産者の高齢化、労働力不足、宅地開発による混住化などの影響が顕著化してきていると感じます。私自身は農業とは無縁の環境で育ちましたが、大学時代にバックパッカーとしておよそ 30 か国を訪問した中で、食の大切さや農業の可能性を感じたことで、国内の農業にもビジネスチャンスがあるのではないかと考え、農業の道を志すようになりました。



▲写真1 ゼロファーム代表 佐藤氏

## 2. 「青祭」導入の経緯

現在の耕作面積としては、およそ 15ha になり、エダマメは 5～6ha 作付けしています。今のところエダマメは、すべて雪印種苗の品種（神風香・恋姫・青祭・青豊）です。これまで「神風香」を 8 月に収穫していましたが、莢の黄化が早いと感じていて、在圃性の良い品種を探していました。地元の種苗店より「青祭」を紹介してもらい、これまでの試験結果は良好でした。特に機械との相性も良く、収穫機や脱英機の作業効率が上がりました。



▲写真2 「青祭」の生育

## 3. 「青祭」栽培状況

5 月上旬～6 月 10 日まで播種しており、7 月～8 月にメインで収穫しています。所沢も夏は暑く、35℃を超える日が続くこともあります。そんな中でも「青祭」は黄化しないで、在圃性に優れていると思います。また、樹が立性で草丈が高いため収穫機械の適応性も高く、さらに調整場所への輸送時にはコンテナに入れて軽トラで運搬しますが、枝がらみもなく作業がやりやすいです。

## 4. おわりに

これまでにエダマメ収穫機・選別機や大型トラクターを導入してきましたが、今後は機械の稼働率を上げることが課題と考えています。そのため機械適応性の点から「青豊」が理想の品種と考えていて、そのような特性を持った早生の品種が欲しいです。

生まれ育った所沢市で新規就農したのは、地元や日本農業へ少しでも貢献していきたいとの考えからであり、所沢市ナンバーワン農業者を目指して、これからも頑張りたいと思います。



▲写真3 機械収穫の様子



▲写真4 機械で刈りやすい「青祭」

## ～群馬県での栽培事例および取り組み～ エダマメ「青祭」を栽培して

社会福祉法人 ゆずりは会  
小出 明広

### 1. はじめに

群馬県は日本でも有数のエダマメの産地であり、約 1,000ha ほどの栽培面積を誇ります。私たち「ゆずりは会」は障害福祉サービス事業所としての平成 18 年の開所と同時に農業生産も開始しました。現在では前橋市、高崎市を中心にエダマメを 9～10ha 栽培しています。近年、温暖化の影響で群馬県でも酷暑となる日が多くなっており、そのような中で、エダマメ栽培も厳しくなっているという現状がありました。



▲写真 1 ゆずりは会 小出氏と「青祭」

### 2. 「青祭」導入の経緯

以前はすべての作型通じて早生のレギュラー品種を使用していましたが、5 月まきからの暑い時期では収量に物足りなさを感じていました。そこで以前からお世話になっている種苗店へ相談したところ、雪印種苗の「青祭」を紹介されました。2021 年に試験的に栽培したところ、5 月まきでも収量性も高く、莢も濃緑で見た目が良いので 2022 年から採用しました。



▲写真 2 脱莢の様子



▲写真 3 脱莢後の状態



▲写真 4 選別作業の様子

### 3. 「青祭」を栽培して

「青祭」は 5 月～7 月上旬まで播種しています。収穫は 7 月～9 月となります。以前から使用していた早生のレギュラー品種から「青祭」に切り替えたことで収量が 30% 程度増加しました。その時期にあった品種を使い分けることで、ここまで収量に違いが出るのかと驚きました。やはり 5 月～6 月播種は暑さが厳しく収量が落ちやすい時期です。雪印種苗の担当者によると、暑さに強い品種を作るための育種を行ったので、特に「青祭」は収量が良いとのことで、納得しました。収量が上がること自体もメリットですが、1 株当たりの莢数が多いので脱莢機に入れる株数が少なくても莢数がしっかり採れ、効率も上がりました。また、分枝の付き方も脱莢機に合うと感じています。「青祭」以外にもいくつかの品種を使用してきましたが、機械で収穫または脱莢機にかけるときにやはり効率の良い品種と悪い品種がありました。「青祭」は分枝の折れも少ないですし、莢のつく位置がやや高いので、収穫の際はやりやすいと感じています。

莢については黄化が遅く、濃緑なの

でくずが少ないです。収穫はできるだけ適期に行っていますが、どうしても適期に実施できない場合があります。「青祭」は収穫適期を若干過ぎても莢色が悪くなりにくいと感じているので、収穫に追われているときでも品質の良い莢が収穫できています。選別はベルトコンベアを使って人の手で行っていますので、くずが少ないことで効率化につながったと感じています。

### 4. おわりに

近年暑い日が多くなっています。「青祭」はこういう時代に合っている品種だと思っています。今後は機械収穫も効率的にしていきたいと思っているので、これからも、さらに機械にあった品種を期待しています。



▲写真 5 出荷形態

## ～神奈川県三浦市での栽培事例および取り組み～ ダイコン「春宴」を栽培して

三浦市農業協同組合  
営農部 課長 岩野 仁

### 1. はじめに

三浦市は神奈川県東南部に位置する三浦半島の最南端にあり、比較的温暖な気候を活かした県内屈指の産地で、農業のみならず漁業・観光業も全国的に有名です。冬はダイコン・キャベツ、夏はスイカ・カボチャ・メロンなどを生産しており、特にダイコンの栽培は古く江戸時代から続くと言われています。現在、経営耕作地面積は 933ha あり、ダイコンはキャベツに次ぐ 395ha で 41,500 トンの生産量があります。また、管内は秋冬作が中心であるため、比較的病害虫の発生が少なく防除回数も少なく済むことから、平成 12 年頃から減農薬・減化学肥料にこだわった栽培にも取り組み、環境保全型農業を実践しています。

### 2. 「春宴」導入の経緯

三浦市松輪地区の藤平 治さんは、約 1.5ha の圃場で、夏はスイカ、秋からはダイコン・キャベツを中心に栽培されています。「春宴」導入は雪印種苗の担当者から品種の紹介をしていただき、試作したのがきっかけでした。試作を繰り返す中で、どのような栽培環境であっても根形の形状と揃いが安定しており、かつ抽苔も遅く安心して作



▲写真1 「春宴」の圃場

付けできる品種であることから、以来 10 年以上も作り続ける今では外せない品種の一つとなっております。

### 3. 「春宴」栽培状況

三浦市では、厳寒期収穫となる 2 月中旬～3 月どりをメインに「春宴」が導入されています。耐寒性の強さや、厳寒期での生育が安定して揃いが良いことから、バランスの良い春ダイコンの品種です。極晩抽性品種の中では葉や根の病害・生理障害に比較的強く、毎年異なる気象の中でも安定した収量が得られ、長期間安心して作付けできる品種であると考えています。

### 4. おわりに

2022 年の春ダイコン生産は極度の低温・乾燥の年でしたが、地域や品種によっては抽苔してしまい出荷がままならなかった産地も多い中で、「春宴」は晩抽性が安定しており、耐寒性も強いので管内でも良いものが収穫できました。異常気象が毎年のように叫ばれるようになってきてからは、栽培の安定化には、信頼できる品種を使うことがよいと考えています。そのため、雪印種苗におかれましても、安心して栽培できる品種の開発をお願いできればと思います。



▲写真2 洗浄具合の確認（右が生産者の藤平氏）



▲写真3 出荷前の「春宴」



▲写真4 出荷形態

～北海道十勝での栽培事例および取り組み～  
ダイコン「夏巡り」を栽培して

農事組合法人レギューム  
顧問 井戸川 正

## 1. はじめに

農事組合法人レギュームは、十勝南部の海岸沿いに面した浦幌町に位置しており、今年で 18 年目を迎えます。浦幌町の気候は冷涼で朝晩にかけて濃霧がかかることが特徴です。土壌は泥炭の軽い土で保水力もあり大根栽培には適した畑だと言えます。

## 2. 「夏巡り」導入の経緯

当組合は「夏巡り」の栽培を始めて今年で 7 年目になります。時期にあわせた品種設定が課題になる中で「夏巡り」に出会って当産地の気候や土壌条件に適した品種であることから、6 月中旬～7 月中旬（最低気温 7～15 度・最高気温 25～30 度）の間で播種日を分けて設定しています。厳しい条件下ですが抽苔もなく、耐暑性もあり、更には規格揃いの良さが特徴です。しいて言うならもう少々青首が鮮明であればというところです。近年、温暖化が原因の異常気象によって予測出来ない自然災害が頻繁に起こっており、生産者はリスクを背負っての生産となります。集中豪雨に備えて畝を高くして栽培していますが、天候に左右されない高品質大根の品種改良を期待しています。



▲写真 1 「夏巡り」の圃場とレギュームの皆さん（右下が井戸川顧問）

## 3. おわりに

当組合の「豊北大根」は、肌の白さ、形状の良さとみずみずしさにおいて市場・契約先などから高い評価をいただいております。シートを被せて出荷することで鮮度保持や変色軽減に役立っているのではないかと考えています。市場からの要望数量に対応し、現状の生産量と品質を維持し、「夏巡り」を通じて自身の有利な販売に繋げ、取り組んでいきたいと考えています。



▲写真 3 選果場の様子



▲写真 2 「夏巡り」の収穫物



▲写真 4 シートを被せて出荷

～北海道十勝での栽培事例および取り組み～  
ミニカボチャ「栗てまり」を栽培して

農業生産法人 ダイヤモンド十勝株式会社  
課長 水谷 昇

## 1. はじめに

十勝の従来農業は、主に4作物（小麦、馬鈴薯、ビート、豆類）でしたが、当社は、西洋わさび、馬鈴薯、人参をメインとし、キャベツ、カボチャ、玉ねぎ等様々な種類の農作物を生産しています。

カボチャは、中玉サイズの品種を中心に直播での栽培に注力してきました。十勝平野の気候も相まって、品質・味ともに良好な品物を生産し、取引先へ納めております。



▲写真1 ダイヤモンド十勝 水谷課長

## 2. 「栗てまり」導入の経緯

量販店のバイヤーから「店頭での品揃えとして小型カボチャを」との要望があり、既存品種の栽培に取り組んでいました。そのようななか他品目でお付き合いのあった雪印種苗の担当者から試験品種として「SQ-022（栗てまり）」を提案いただきました。小型カボチャは当然のことながら、ある程度以上の着果数が求められます。また、直播栽培においては移植栽培と比較し、露地での発芽率が安定していることや、初期生育の日数が短くなることから開花タイミングや着果数がどの程度かが品種導入のポイントと考えております。さらに、食味においても既存品種と同等以上であることも重要になります。試験栽培を3年ほど行い、着

果数や食味なども良好であることが判明し、現在小型カボチャ販売のメインの一つとして販売をしております。

## 3. 「栗てまり」の栽培状況

5月下旬に播種、6月～8月に生育管理を行い、9月上旬で収穫となります。地上部の生育は他品種と比較しても遜色なく、やや高温を嫌う傾向はあるものの、適期防除を心がけておけば収穫時期まで茎葉をほぼ維持できます。そのため他品種より収穫に日数をかけられる傾向にあり、つる割れを確認したのち、収穫作業を行うようにしております。

## 4. おわりに

取引先からは、商品名のとおり家庭向けに手に乗るサイズで持ち帰りやすく、また小さいので調理の際にカットや加熱もしやすいことから好評との話を頂いております。



▲写真4 出荷を待つ「栗てまり」



▲写真2 「栗てまり」の栽培風景



▲写真3 着果の状況

## 秋田県エダマメ栽培での緑肥作物の導入事例 ペルシアンクロローバ「まめ小町」で「ダイズシストセンチュウ」を抑制

株式会社 高井南茄園  
常務取締役 金野 豊秋

### 1. はじめに

秋田県では稲作依存度が高く、米価の下落の影響を大きく受けてしまう農業生産構造からの脱却を図るため、平成 22 年に設置された「えだまめ販売戦略会議」などの取り組みを通して、生産者や関係機関・団体が丸となってエダマメの作付面積を増やし、令和 3 年には 700ha を超える栽培面積となっております。すでに稲作で機械化、大規模生産法人化により集約されていた水田の転作作物として位置づけられ、エダマメの収穫や選別調整の機械化が進められて、京浜市場でのエダマメ取扱量も年によっては日本一になるまでに成長してきました。

### 2. 「まめ小町」導入の経緯

エダマメの産地化を進めていく過程で、作付面積当たりの収量の低さを問題視する関係者が少なくなく、エダマメの栽培における課題となっております。その原因の一つに「ダイズシストセンチュウ」が、いつの間にか秋田県内で見られるようになってしまった点が挙げられます。当初は水田転作畑で栽培しているため、当然湿害を受けてしまうことも多々あり、生育の途中でエダマメの葉が黄化してしまう症状の原因はすべて湿害によるものと判断していました。

雪印種苗の担当者から「ダイズシストセンチュウ」による被害の可能性を指摘され、調査していった結果、県内各地で「ダイズシストセンチュウ」により根の生育が阻害され、葉が黄化して生育が不良になってしまう被害の発生が多いことがわかりました。令和元年から 3 年間、雪印種苗の担当者や関

係者と「ダイズシストセンチュウ」対策について調査・検証をした結果、秋田県ではペルシアンクロローバ「まめ小町」が有効であると判断しました。

「ダイズシストセンチュウ」には通常クリムソクローバ「くれない」を利用するそうですが、秋田県の秋は冬型気圧配置になると雨の日が多くなり、特に水田転作畑では湿害で「くれない」の生育が悪く、一方「まめ小町」は湿害の影響をあまり受けず順調に生育します（写真 1）。「まめ小町」を一作した圃場では、その後のエダマメ栽培で「ダイズシストセンチュウ」の着生も見られず、生育も順調で収量も上がりました。



▲写真 1 播種 3 か月後の「まめ小町」の様子  
湿害の影響を受けず、順調に生育（秋田県五城目町）

### 3. 「まめ小町」の利用方法

早生系のエダマメを収穫した後、8 月中旬～9 月上旬までに「まめ小町」を播種します。9 月中下旬の播種でも発芽はしますが、緑肥作物として生育量が不足「ダイズシストセンチュウ」の対策にもならないので、播種時期には注意が必要です。越冬はほぼできず雪解け後は枯れた状態であるため、4 月の極早生系エダマメの播種に向けた圃場準備が可能です（写真 2）。



▲写真 2 4 月雪解け後、「まめ小町」が枯れた状態  
エダマメ播種に向けた圃場準備が可能（秋田県五城目町）

### 4. おわりに

早生系のエダマメならば収穫後に「まめ小町」を利用することで、「ダイズシストセンチュウ」対策に加えマメ科緑肥による地力向上が図られ、同じ圃場で栽培を続けることが可能になります（写真 3～6）。排水対策が重要なエダマメ栽培においては、緑肥作物を利用しながら決してブロック転作などと言って水田に戻したりしないことが、十分な収量があり、品質の良いエダマメを栽培する大きなポイントであると考えます。



▲写真 3 播種約 2 か月後の「まめ小町」  
（秋田県井川町）



▲写真 4 越冬後の圃場



▲写真 5 エダマメ収穫期の圃場



▲写真 6 エダマメの根の様子  
「ダイズシストセンチュウ」の着生は見られず、健全に生育

## 「闘根シリーズ」のネギ栽培での利用について

雪印種苗株式会社 事業本部 園芸部  
企画グループ 課長 中村 師之

### 1. はじめに

当社の植物活力資材の中で、特に根の生育をサポートする「闘根シリーズ」は、これまでも水稻をはじめ、キュウリやピーマンなどの果菜類、レタスやブロッコリーなどの葉菜類など多くの作物でご利用いただいております。

今回は、ネギ栽培での「闘根シリーズ」の新たな利用方法を、現地試験の結果を交えながらご紹介させていただきます。

### 2. 「闘根 242」の使用事例

「闘根 242」は、昔から利用されているボカシ肥料をヒントに、発酵の過程で働く乳酸菌に着目して開発を進めた製品で、主に育苗期間や定植前に500倍から1,000倍に希釈して、根に触れるように使用する液体肥料です。ネギの栽培では、これまでも定植後の良好な活着を期待して定植3日前を目安に灌注や灌水でご利用いただいております。

今回ご紹介する使用方法は、ネギの生育に応じて収穫までに数回行われる土寄せ作業前後の薬剤処理時に、「闘根 242」を500倍に希釈して混用する使い方です。土寄せによりストレスを受けたネギの根を出来るだけ早くに回復させることが目的で、千葉県や茨城県の試験結果(表1、写真1)により、初期の土寄せからの利用が効果的と考えております。



▲写真1 茨城県 規格別収量調査

| 試験区    | 出荷規格 | 本数(本) | 割合(%) | 1m本数(本) | 調整後重量(g) |        | 10a本数(本) | 規格別売上(円) | 10a売上(円) |
|--------|------|-------|-------|---------|----------|--------|----------|----------|----------|
|        |      |       |       |         | 1mあたり    | 平均1本重量 |          |          |          |
| 対照区    | L    | 2.5   | 8.1   | 31      | 3,445    | 111.1  | 2,778    | 112,026  | 789,002  |
|        | M    | 12    | 38.7  |         |          |        | 13,332   | 434,623  |          |
|        | S    | 7     | 22.6  |         |          |        | 7,777    | 166,145  |          |
|        | 2S   | 6     | 19.4  |         |          |        | 6,666    | 66,660   |          |
|        | 規格外  | 3.5   | 11.3  |         |          |        | 3,889    | 9,548    |          |
| 闘根242区 | L    | 8.5   | 26.2  | 32.5    | 4,370    | 134.5  | 9,444    | 380,888  | 997,525  |
|        | M    | 10.5  | 32.3  |         |          |        | 11,666   | 380,295  |          |
|        | S    | 8.5   | 26.2  |         |          |        | 9,444    | 201,748  |          |
|        | 2S   | 2.5   | 7.7   |         |          |        | 2,778    | 27,775   |          |
|        | 規格外  | 2.5   | 7.7   |         |          |        | 2,778    | 6,820    |          |

▲表1 茨城県 夏ネギ(品種:関羽一本太) 試験区1m×2反復の平均収量と想定売上金額

#### <生産者による現地試験の概要>

2021年1月中旬 播種  
2021年4月上旬 定植  
2021年6月18日 闘根242灌注(1回目の土寄せ前)  
2021年7月24日 闘根242灌注(2回目の土寄せ前)  
2021年9月17日 収穫調査

闘根242は、白絹病と害虫防除の薬剤処理に合わせて500倍希釈で1,000ℓ/10a灌注施用

※出荷規格は、軟白部の太さ(L:2.0cm以上2.3cm未満 M:1.7cm以上2.0cm未満 S:1.5cm以上1.7cm未満 2S:1.0cm以上1.5cm未満)  
※10a本数は、畝間90cmの圃場で1mの柵が1,111本入ると想定し、出荷規格別の1m本数に1,111を掛けて算出  
※規格別売上は、1箱入数をL:36本、M:45本、S:55本、2S:80本とし、箱単価は試験地である茨城県の2021年9月中旬の相場を参考に算出  
※規格外は、平均重量(25.8g)を出荷量目5.8kgで割り戻して箱数を算出  
※規格選別に、軟白長(27cm以上)は考慮せず

#### 機能性液肥

とうこん  
**闘根242**

#### 使い方

500~1,000倍希釈  
灌水・灌注・根部浸漬

#### 使い方



#### 土台作りで根張り勝ち!

乳酸菌培養物由来の栄養素が、植物の根の生育をサポートして初期生育を安定させます。



2014年9月:自社試験(千葉市) 播種後28日目のカボチャ苗  
播種後9日目に闘根242を500倍希釈液で処理した。

登録番号 生第87569号

肥料の種類 液状複合肥料

肥料の名称 SB有機入り液肥242号

保証成分量 (%)

窒素全量 2.2

内アンモニア性窒素 1.0

硝酸性窒素 1.0

水溶性りん酸 4.0

水溶性加里 2.0

作物の根張りをサポートする

# 闘根シリーズ

乳酸菌培養液に含まれる栄養素が  
作物の根の生育をサポートします。



## 3. 「根真人 232」の使用事例

「根真人 232」は、乳酸菌培養液を利用した有機質を豊富に含む液体肥料で、キュウリやピーマンなどの果菜類やニラなど栽培期間の長い作物の根痛みや生育停滞の解消を目的に、定植後から収穫期間中 1,000 倍に希釈して土壌灌注器や灌水チューブなどを使い、2 週間に 1 回程度の頻度でご利用いただいております。

ネギ栽培では、3 回目の土寄せ前後から「根真人 232」を 500 倍に希釈して 2 週間に 1 回を目安に病害虫防除の薬剤処理に合わせて灌注でご利用いただくと、ネギの太りが良くなる傾向が見られました。土寄せ時の根のダメージ回復の他、「根真人 232」に含まれる豊富なアミノ酸の効果が発揮された結果と考えております（表 2、写真 2）。

## 4. おわりに

今回ご紹介したネギの生育期間中の「闘根シリーズ」利用方法は、ネギ生産者の閃きがきっかけとなっています。これからも生産現場に足を運び、生産者様との対話を重ねながら、多くの作物に植物活力資材を普及させていくことで農業に貢献していきたいと考えております。

〈対照区〉



〈根真人 232 区〉



▲写真 2 山梨県 規格別収量調査

| 試験区          | 出荷規格 | 本数<br>(本) | 割合<br>(%) | 1m 本数<br>(本) | 調整後重量 (g) |         | 10a 本数<br>(本) | 規格別売上<br>(円) | 10a 売上<br>(円) |
|--------------|------|-----------|-----------|--------------|-----------|---------|---------------|--------------|---------------|
|              |      |           |           |              | 1mあたり     | 平均 1本重量 |               |              |               |
| 対照区          | 2L   | 2         | 6.5       | 31           | 3,300     | 106.5   | 2,222         | 81,473       | 729,402       |
|              | L    | 14        | 45.2      |              |           |         | 15,554        | 449,338      |               |
|              | M    | 6         | 19.4      |              |           |         | 6,666         | 111,100      |               |
|              | 規格外  | 9         | 29.0      |              |           |         | 9,999         | 87,491       |               |
| 根真人<br>232 区 | 2L   | 2         | 5.7       | 35           | 4,100     | 117.1   | 2,222         | 81,473       | 1,003,462     |
|              | L    | 25        | 71.4      |              |           |         | 27,775        | 802,389      |               |
|              | M    | 6         | 17.1      |              |           |         | 6,666         | 111,100      |               |
|              | 規格外  | 2         | 5.7       |              |           |         | 2,222         | 8,499        |               |

▲表 2 山梨県 ネギ（品種：夏扇 4 号）試験区 1m の平均収量と想定売上金額

### ＜生産者による現地試験の概要＞

2021 年 6 月 3 日 定植

2021 年 11 月 19 日 収穫調査

根真人 232 は、3 回目の土寄せ終了後の 9 月 15 日、30 日、10 月 5 日、14 日、30 日に 500 倍希釈で 200 ～ 300 ㍓/10a 灌注施用  
9 月 15 日の根真人 232 使用開始以降は土寄せを行っていない

※出荷規格は、軟白部の太さ（2L:2.0 cm 以上 2.5 cm 未満  
L:1.5 cm 以上 2.0 cm 未満 M:1.3 cm 以上 1.5 cm 未満）

※10a 本数は、畝間 90 cm の圃場で 1m の柵が 1,111 本入ると想定し、  
出荷規格別の 1m 本数に 1,111 を掛けて算出

※規格別売上は、1 箱入数を 2L:30 本、L:45 本、M:60 本とし、箱単価は  
試験地である山梨県の 2021 年 11 月の相場を参考に算出

※規格外は、平均重量（対照区:68.8g、根真人区:30g）を出荷量目 5.5 kg  
で割り戻して箱数を算出

※規格選別に、軟白長や曲がりは考慮せず

## 灌注用機能性液肥



### 使い方

1,000倍希釈を目安  
灌水・灌注



10kg

登録番号 生第100914号

肥料の種類 液状複合肥料

肥料の名称 SB有機入り液肥232号

保証成分量 (%)

窒素全量 2.5

りん酸全量 3.0

内水溶性りん酸 1.0

加里全量 2.5

内水溶性加里 2.5



## 「栗天下」 かぼちゃと クリームチーズの和風サラダ

材料（2人分）

栗天下 1/4 個 400g

クリームチーズ 40g

【A】 削り節 小分け1パック 4g

【A】 しょうゆ 小さじ 1/2

作り方

- ①栗天下は種とわたを取り除き、2cm 角に切る。  
大きめの耐熱ボウルに入れてラップをかけ、  
電子レンジ（600W）でやわらかくなるまで6分  
ほど加熱する。
- ②①に【A】を入れて混ぜ、スプーンでちぎった  
クリームチーズを加えてざっくりと混ぜ合わせ  
る。冷蔵庫で冷やす。

定番かぼちゃのサラダを  
和風アレンジ。  
栗天下の濃厚な甘さと、  
クリームチーズのなめらかさが  
よく合います！



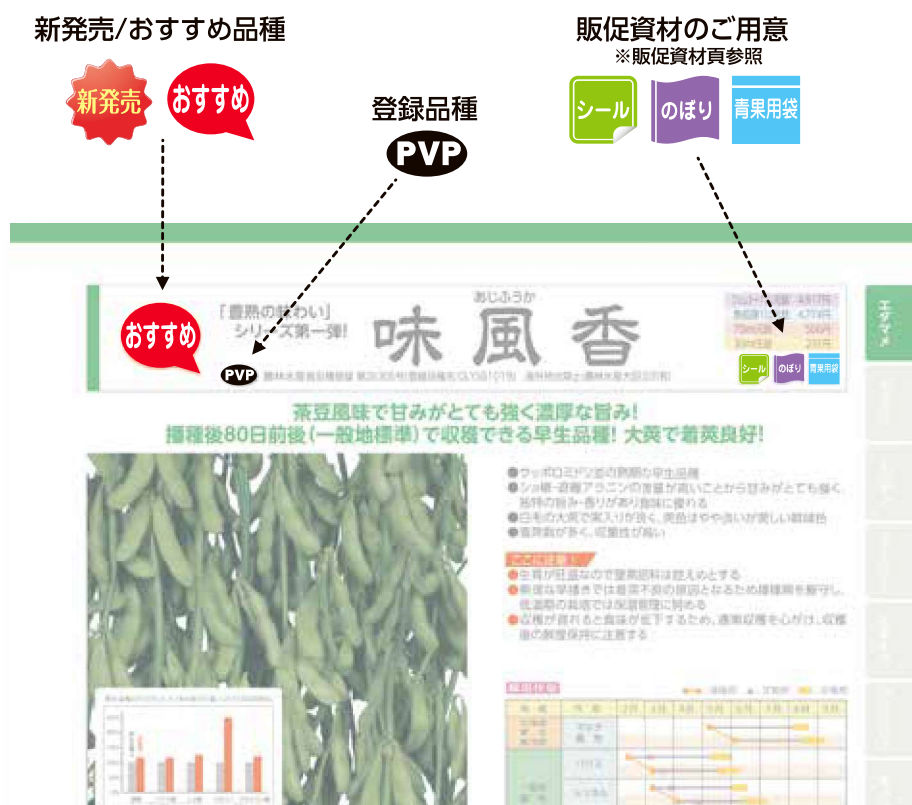
### いがらしかな

農業を2年ほど経験した後、野菜料理家として旬の野菜をいかしたレシピを発信。  
企業のレシピ開発を多数担当。  
プラントベースフードアドバイザー、野菜コーディネーター



表紙のレシピは  
こちら

# 2023 年 特選種子・資材のご案内



本誌に掲載されている参考小売価格（税込）は 2022 年 12 月から 1 年間有効です。予告なく変更となる場合があります。

## ● 種子と責任

- 発芽試験済みの良質種子をお届けいたします。  
なお、種子の外見・重量・粒数の異常については到着日から1週間以内、発芽についての照会は1ヵ月以内にお申し出ください。
- 本種子は、日本国内での使用を前提として出荷・販売されるものです。
- 種子は、播種後の栽培条件・天候等によりその結果が異なることがありますので、結果不良の責任はお買い上げ代金の範囲内とさせていただきます。
- 種子はその本質上、100%の純度は望めません。

## ⚠ 注意

- 種子には、保護を目的に薬剤処理(殺菌剤など)をしている場合があります。処理された種子をご使用の際は、吸い込んだり、目や皮膚に触れたりしないよう注意してください。
- 播種作業の際には、長袖の作業衣・保護手袋・保護マスク・保護メガネを使用するよう心掛けてください。
- 種子を栽培以外の用途に使用しないでください。
- 小児やペットが触れないところに保管してください。
- 直射日光や湿気を避け、涼しいところに保管してください。

## ● 農林水産省品種登録について

優良な品種は、農林水産業生産の基礎であり、品種の育成はその発展に寄与します。新品種の育成には、専門的な知識・技術と長期的な労力・多額の費用が必要です。ところが第三者が容易に増殖できる場合が多いことから、種苗法による品種登録制度により、育成者の権利保護を行い、新品種の育成の振興が図られています。

## ● PVPマークについて **PVP**

このマークは種苗法に基づく登録品種であることを表しています。登録品種は知的財産権(育成者権)として保護されており、このマークのついている種苗を、育成者権者の承諾なしに業として利用(増殖、譲渡、輸出入)する行為は、損害賠償、刑事罰の対象になる場合があります。  
※PVP: Plant Variety Protection(植物品種保護)の略

- 当カタログは、刊行時の関係法令に則り掲載情報を更新しております。今後も新しい技術情報、商品情報のご提供に努めてまいります。当カタログは定期的に発行いたしますので、新しいカタログをご希望の場合は、お気軽に最寄りの営業所までご連絡いただければ幸いです。

13

エダマメ

20

エンドウ

21

インゲン

22

スイートコーン

26

カボチャ

29

ブロッコリー

30

キャベツ

31

ダイコン

37

コマツナ

39

レタス

40

レタス/ニンジン  
ホウレンソウ

41

販促資材

43

絵袋・小袋

45

緑肥作物